

まちづくり・環境



環境貯金箱...ごみ減量にみんなで取り組もう！ 節約できた処理経費を積み立てて、秋田の環境をもっとよくするために使います。貯金箱は市役所入口と秋田市総合環境センターに設置しています。

予算▶75万円

秋田拠点センターA^{アル}L V^{ヴェ}Eのオプションに合わせ、東口駅前広場を整備し、秋田駅東口ににぎわいを生み出します。また、家庭レベルで参加できる市民版ISOを実施します。

秋田駅東口をにぎわいの空間に

A^{アル}L V^{ヴェ}Eとなり、自転車二千六百台、バイク五十台を収容する自転車等駐車場が七月にオープンします。

予算(運営費) 1708万円

秋田駅東拠点地区の区画整理を引き続き進めます。東口駅前広場は今年中に全体完成の予定ですが、南側部分はA^{アル}L V^{ヴェ}Eの完成に合わせて七月から利用できる見込みです。 予算 2億6709万円
市街地内の円滑な交通を確保する都市計画道路は、秋田環状線(栖山地区)、手形東通線、土崎駅前線を整備します。 予算 10億8650万円

地域間の交通ネットワークをつくる幹線道路は、飯島金足線(飯島工区)、南部中央線(茨島工区)を整備します。 予算 10億5525万円

浸水を防ぎ、汚水をきれいに処理する下

水道は、引き続き金足、將軍野、広面、下北手、仁井田、浜田地区を整備します。 予算 39億4600万円

緑化重点地区として、御休下第一街区公園、川元松丘街区公園、川尻総社後街区公園の再整備を行います。 予算 3100万円

ごみの不法投棄監視を強化

市内の河川や湖沼、里山などの自然環境を調査し、自然環境保全地区指定などを行います。 予算 4273万円

ごみの不法投棄多発地点に監視カメラ、警告板などを設置するとともに、パトロール車を配備し、不法投棄の未然防止を強化します。 予算 375万円

老朽化した粗大ごみ破砕施設を更新し、金属類も処理できる第二リサイクルプラザ(仮称)の建設に着手。完成は平成十八年度の予定。 予算 2億655万円



市民版ISO

e市民になろう!

おもしろ楽しく環境チェック

ご家庭で省エネ、ごみ減量などを実践していただき、環境部に状況を報告していただきます。

名付けて「e-市民認定システム」。認定者には、認定証と記念品をさしあげます。どしどしご応募ください。

初級コース(定員500人)

環境にやさしい行動を1項目以上、1か月取り組み、報告します

中・上級コース(定員300人)

環境にやさしい行動を1項目以上、6か月取り組み、2か月ごとに報告。上級はさらに6か月継続

問い合わせ 環境企画課tel(863)6632

市民版ISO...企業・自治体などが環境に与える影響を減らすために取り組む「環境ISO」を、家庭向けにアレンジした仕組み。

e-市民...秋田市では「人にも地球にもやさしい」市民をこう呼びます。「e」はエコロジー(ecology)の頭文字。

雇用対策・地産地消

中小企業への融資あつせんの拡充や、優良企業の誘致など、地元で働ける場づくりを進めます。また、安全・新鮮・安心な地産地消に引き続き取り組みます。



昨年、西部工業団地に誘致した(株)プレステージ・インターナショナル

商工業振興奨励...優良企業の誘致や雇用拡大を奨励するための助成を企業に対し行います。 予算▶6694万円

コーセー化粧品販売(株) 受注センターの誘致決定!

全国に分散していた受注部門を集約した「コーセー化粧品販売(株)受注センター」が、今年8月、秋田市山王に新設されます。これは県と市が誘致を進めていたもので、商品の受注に加え、決済業務などを行う一体型のコールセンターであり、地元雇用が望めるうれしいニュースとなりました。

中小企業への融資額を拡大

中小企業の資金調達などに配慮し、一般事業資金や設備近代化資金などの融資額を大きく拡大しました。 予算 45億604万円(千五年度より約13億円増)

企業が求める人材を育てる就職支援講座を開きます。 予算 2715万円

地域の特色を活かした魅力ある商店街にするため、資金の貸付や空き店舗対策などを進めます。 予算 2900万円

県内企業の海外取引を支援し、産業の活性化をはかるため五月に設立される「(仮称)秋田県貿易促進機構」の事業費の一部を負担します。 予算 199万円

産業界のリーダーを養成する秋田商工会議所の「あきた凌雲塾」を支援します。 予算 50万円

情報通信系 就職支援講座



コールセンターなど情報通信分野に興味のあるかたが対象です。接遇などの実践的なメニューを学びます。受講無料。定員20人。

とき 4月19日(月)から22日(木)までの4日間
9:30~12:00または
13:30~16:00のいずれか

ところ 市保健所大会議室(八橋南一丁目)

- 内容**
- 1日目 自分と向き合い自分を知る
 - 2日目 対人能力の向上をはかる
 - 3日目 話す力・聴く力をつける
 - 4日目 面接などのロールプレイング

申し込み

受講を希望されるかたは、事前に工業労政課へご連絡ください。tel(866)2114

中央卸売市場の花き棟を増築

四月から五月にかけて、秋田市、男鹿市、角館町などで撮影が行われる映画「釣りバカ日誌」のロケを支援します。 予算 1170万円

花きなどを新鮮に保つ低温流通システムに対応するため、中央卸売市場の花き棟の増築工事を行います。 予算 1600万円

下北手中央地区(桜谷地、細谷沢、谷崎、柳館、通沢、宝川)農業集落排水の全体実施設計と管路工事に取りかかります。平成二十年度に完成の予定です。 予算(今年度分) 2億5230万円

市内産農畜産物の直売を、セリオンやALLVEで行うほか、学校給食の食材としての使用拡大などを進めます。 予算 100万円

福祉・健康づくり・防災

秋田市地域福祉計画に基づき、
支え合いのまちづくりを進めます。
また、認定保育施設を増やすほ
か、短時間保育の実施などにより、
多様化する保育ニーズに対応しま
す。



短時間保育を実施...パートで働くかたなどを対象に、土崎保育所、川尻保育所、川口保育所の3か所で、新たに1日5時間以内の短時間保育を実施します。予算 1068万円

高齢者の在宅サービスを充実

一人暮らしなどの高齢者を対象としたホームヘルパーの派遣を新たに1か所、デイサービスを新たに2か所に委託します。
予算 2136万円

在宅サービスの利用環境を充実するため、ショートステイ用居室を増設する特別養護老人ホーム光峰苑に助成します。
予算 9537万円

在宅で要介護4または5のかたを介護している世帯に秋田市共通商品券を支給する在宅介護支援事業の支給要件を緩和し、対象者を拡大します。
予算 1158万円

保育環境を整備し サービスの向上をはかります

在宅の身体・知的・精神障害のあるかたの就業や、日常生活に関する支援を行います。
予算 524万円

人工透析患者の通院実態に即し、タクシー利用券(五百八十円分)の給付を、ひと月あたり四枚から十六枚に増やします。
予算 4516万円

次世代を担う子どもたちが、すこやかに生まれ育つ環境を整えるため、次世代育成支援対策推進法に基づき、行動計画を策定します。
予算 159万円

十六年度から民営に移行したあさひ保育園を加え、私立保育所3か所で休日保育を実施します。
予算 391万円

「キッズステーションしょうぐんの」を新たに認定保育施設に認定し、保育環境の



食品の安全を確保します

市保健所では平成十六年度から、食べ物が原因の衛生上の事故を防ぐため、年間計画を立てて重点的、効果的に監視指導を実施し、市内の食品の安全性を確保します。監視指導には左図のようなポイントを設けました。

また、消費者、食品関連事業者、学識経験者の参加で食品衛生について協議する会を新たに設けるなど、市民の意見を取り入れた監視指導を行います。

「平成十六年度秋田市食品衛生監視指導計画」は、市民相談室、市保健所衛生検査課、ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.akita.jp/city/h/eshokuhin/keikaku.htm>

問い合わせ 衛生検査課 ☎(833)1181

平成16年度秋田市食品衛生監視指導計画

実践的な7つのポイント

学ぶ	教える	語り合う	育てる	助け合う	調べる	見る
資質向上	普及・啓発	リスクコミュニケーション	自主的な衛生管理の推進	連携確保	収去検査	立入検査
食品衛生担当職員の資質の向上に努めます	地域や学校に出向き、食品衛生に関する講習会を開催します	検査結果、食中毒事件などを公表し、広く市民との意見交換会を開催します	食品関連事業者らが自ら食品の安全を確保するように指導します	関係機関と連携を密にし、監視指導を効率的に実施します	細菌、残留農薬、食品添加物などを検査し、結果を指導します	食品関連施設へ立ち入り、現場で指導します

新しい道しるべのスタート 秋田市地域福祉計画

少子・高齢化がますます進むということや、国も地方も厳しい財政状況にあるというような悲観的なところばかりが強調されがちですが、できることであれば、明るい未来に向かって歩いていきたいものです。

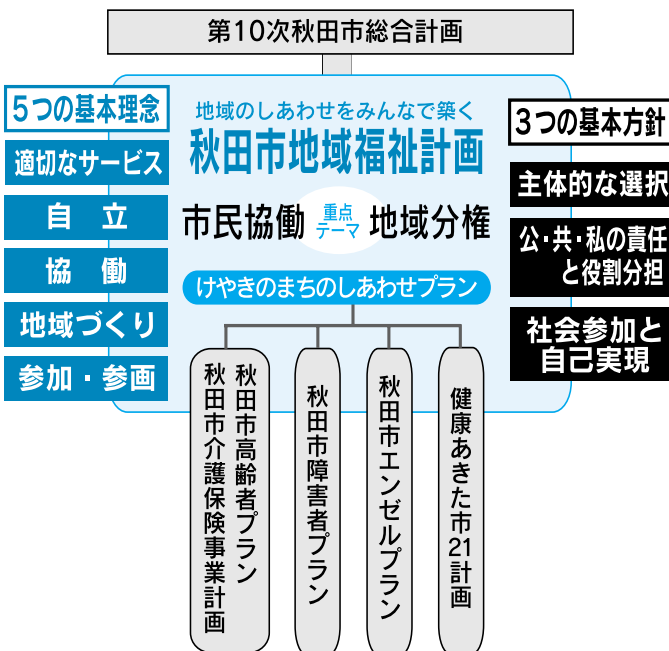
このたび策定した「秋田市地域福祉計画」は、「福祉」とは「しあわせ」のこと、「地域福祉」とは「地域のしあわせをみんなで築いていくこと」と定義し、積極的な考え方を大切にすることにしました。

計画の内容は、秋田市社会福祉審議会(綿貫勤委員長)と地域福祉専門分科会(倉田正義会長)での論議や、市内36地区で開催したワークショップ(協働作業による学びの場)など、多くの市民のみなさんの意見交換にもとづいてつくりあげました。

その結果、下の図のように5つの基本理念と3つの基本方針、そして重点テーマを「市民協働」と「地域分権」とすることに決め、「行政」と「地域」と「市民一人ひとり」の力の結集により、支え合いの社会の実現をめざしていくこととしています。

16年度は、この計画を実効性のあるものにするため、引き続きワークショップを実施し、地域福祉の意識づくりを進めます。

* 地域福祉計画については、次の広報あきたで詳しくお知らせします



地域福祉計画の内容はホームページでご覧いただけます
<http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/mn/tiiki>

問い合わせ 福祉総務課地域福祉担当tel(866)2090



ワークショップには延べ1,753人の市民のみなさんに参加していただきました。ありがとうございました



健康診査をさらに充実 前立腺がん検診を実施します

生活習慣病の予防対策として行っている各種健診に、新たに五十歳以上の男性を対象とした前立腺がん検診を追加し、健診体制を充実します。

予算 3億2200万円

少子化対策として、不妊治療のうち体外受精・顕微受精を実施した場合に、二年間・年額十万円を限度に助成します。

予算 1303万円

地域の自主防災組織を育成し 災害に強いまちをつくります

石油コンビナート地域のタンク火災などに対応するため、土崎消防署の泡原液搬送車を更新します。予算 2958万円

予算 3122万円

秋田南消防署の高規格救急自動車を災害対応特殊救急自動車に更新し、救急機能を強化します。

予算 540万円